

本校への受験を検討されていらっしゃる方から、比較的多くお寄せいただいた質問と、それらに対する回答をまとめました。なお、各質問に対する回答内容については、あくまでも本校の基本的な方針と一般的な事例を想定してご説明したものであり、特定の事例や個別のケースに基づいたものではありません。具体的なお質問やご相談については、詳細な内容をお伺いして、個々に対応させていただきますので、弘学館事務局生徒募集係（TEL0952-98-2161又はeメール：info@kogakukan.ac.jp）までご連絡下さい。

目次

【教育面】	4
Q：公立の中高一貫校との違いは何ですか。	4
Q：高校からの入学を考えていますが、内部進学生との進度の差が心配です。	4
Q：授業についていけない生徒へのフォローはありますか。	4
Q：授業参観はできますか。	4
Q：イブニングスクールは必ず受講しないといけませんか。	4
Q：イブニングスクールで学力は伸びていますか。	5
Q：イブニングスクールは通学生も参加できますか。	5
Q：入学してからも塾へは通えるのですか。	5
Q：進路を決定する際はどのような指導が行なわれますか。	5
Q：保護者面談はありますか。また三者面談もできますか。	6
Q：クラブ活動は盛んですか。	6
Q：部活で野球・水泳をやりたいのですが。	6
【入試・手続面】	6
Q：入学願書の申込方法を教えてください。	6
Q：専願制度とはどういうものですか。	6
Q：必ず入寮しないといけないのですか。	7
Q：補欠合格と合格とはどのように違うのですか（類似のご質問として：補欠で入学しても授業についていけるか不安です。）	7
Q：繰上げ合格の連絡はいつ、どういう方法でなされますか。	7
Q：特待生制度はありますか。	7
Q：公立高校へ合格した場合、弘学館への入学辞退はできますか。	8

Q：入学前に学校・寮見学はできるのですか。.....	8
Q：入学を予定していますが、入学者説明会にどうしても都合が悪くて参加できません。.....	8
Q：通学範囲は決まっているのですか。.....	8
Q：JR 佐賀駅からはバス・タクシーで何分かかりますか。(類似のご質問として：バスの本数はどれくらいですか。).....	8
Q：佐賀大和インターを降りてからの道順を教えてください。.....	9
Q：スクールバスはありますか。.....	9
【寮生活面】	9
Q：帰省はいつできますか。(類似のご質問として：帰省の回数制限はありますか。長期帰省できるのはいつですか。).....	9
Q：子どもへの連絡はいつでもできますか。.....	10
Q：夜間学習中、分からない点は質問できますか。.....	10
Q：夜間の学習時間を延長することはできますか。.....	10
Q：朝早く起きて学習することはできますか。.....	10
Q：休日には自由に外出ができますか。.....	10
Q：洗濯物は帰省日に自宅へ持って帰るのですか。.....	11
Q：寮で病気にかかった場合、病院へはどのようにして行くのですか。(類似のご質問として：通院時は送迎してもらえますか。).....	11
Q：食事のメニューは選べますか。(類似のご質問として：寮の食事がおいしくないと聞きますが本当?).....	11
Q：食物アレルギーがあるので、寮での食事が心配です。(類似のご質問として：おかゆなどは作ってもらえますか。).....	11
Q：通学生も給食は食べられますか。.....	12
Q：夜食は自由に食べられますか。また、販売はされていますか。.....	12
Q：寮の浴室の衛生管理についてどのようにされていますか。.....	12
Q：子どもの居室を見ることはできますか。.....	12
Q：携帯電話の所持は許可していますか。.....	12
Q：いじめやけんか、生徒同士のトラブルに対してはどのように対処していますか。.....	12
【その他】	13
Q：同窓会はあるのですか。(類似のご質問として：卒業生は何名ですか).....	13

Q：後援会はどのようなことをしているのですか。(類似のご質問として：保護者の集まりはありますか。) 13

【教育面】

Q：公立の中高一貫校との違いは何ですか。

原則として、中学1年次から高校卒業年度まで、学年担任、教科担当者が持ち上がります。

また、英・数・国の時間数が公立校に比較して2倍弱程度あり、6年間を見通した加速式学習法を採用できますので、高校2年次までに高校における学習内容をほぼ終了します。高校3年次では大学入試の準備に専念できる体制をとり、難関国立大学入試に向けては、志望校別での特別カリキュラムを組んでいます。また、課外の時間を用いて添削・個別指導を積極的に行っています。

なお、弘学館では転勤制度がないので、教師の長年にわたる体験に裏打ちされた指導方法や進学データがそのまま蓄積されて残ります。

Q：高校からの入学を考えていますが、内部進学生との進度の差が心配です。

高校からの入学生(外進生)については、内部進学生(内進生)とは別のクラス編成とするため、入学時から内進生との混合クラスとはなりません。

教科ごとに習熟度に沿ったカリキュラム編成とし、内進生との進度の隔たりを解消していきます。

Q：授業についていけない生徒へのフォローはありますか。

どの学年においても、小テスト、単元テストなどで合格点に達しなかった生徒が、理解できるようになるまで繰り返し追指導をしています。また、放課後のマンツーマン指導はいうまでもなく、寮学習の時間に学習指導員(現役医大生)への質問・相談コーナーを設けるなど、さまざまな取り組みをしています。

Q：授業参観はできますか。

自由においでください。授業参観には特に制限は設けていません。

保護者の方については、「宿泊参観プログラム」を申込まれると、寮内のゲストルームに一泊し、学校・寮でのお子様の様子を見学していただくとともに、担任や寮監との面談もできます。希望者には、生徒と同じ給食(夕食・朝食)をご提供いたします。これらは金曜の夜から翌日の土曜にかけての日程となっていますので、土曜日の午後からの帰省に合わせてお子様とご一緒にお帰りいただくことができます。

また、受験希望の方については、原則、毎週土曜日に校内見学会「オープンスクール」を開催しています。授業見学(9:00~12:15)、寮施設見学(9:00~16:00)、受験相談等、係が詳しくご説明いたします。1週間前にご予約いただければ給食の試食もできます。

Q：イブニングスクールは必ず受講しないとイケませんか。

中学1・2年生については、イブニングスクールの時間に、昼間の授業の内容を再確認させることで学習理解の徹底を図っています。寮学習の一環として行なっていますので、中学

1・2年の寮生は必ず受講しています。

なお、通学生でも希望すれば参加することができます。(ただし、保護者の方の送迎を条件とします。)

Q：イブニングスクールで学力は伸びていますか。

結論から言いますと、イブニングスクールを受講することによって、基本教科の基礎学力は着実に伸びてきていると思います。

イブニングスクールとは、中学1、2年生が午後7時から午後9時までの時間、英語・数学の専任教師の指導の下、基礎学力の定着や日々の学習習慣を確立させる目的で行なう寮での学習です。ここでは、授業の補充、補完を主なねらいとしており、授業の復習、確認、発展のための学習で、進度を進めるといった学習内容ではありません。また、中学1、2年の間に自分なりの学習の方法を習得し、基本的な学習習慣を身につけることによって、中学3年次からは寮で自学自習ができる体制を整えます。

Q：イブニングスクールは通学生も参加できますか。

イブニングスクールの終了は午後9時頃となりますので、帰宅時の安全面の確保（保護者の方による自家用車での送迎等）が確認できれば、参加を許可しています。なお、申し込みされれば、夕食（月額11,210円）は男子はアカデミアハウス、女子は陽光学舎の各食堂でとることができます。

Q：入学してからも塾へは通えるのですか。

寮生については、月曜から金曜まではイブニングスクールや寮夜間学習があり、物理的に不可能です。土・日や長期帰省期間中における通塾を禁じている訳ではありませんが、学校と寮とが有機的に連携しながら学力を向上させていく、6年間ないし3年間を見通した本校独自の学習システムを通して、その必要性がないように、生徒一人ひとりへのきめ細かいサポートに力を注いでいます。

Q：進路を決定する際はどのような指導が行なわれますか。

生徒が自分の進路を自覚して最初に意思決定する場合は、高校で学ぶ地理・歴史の科目を選択する中学3年次です。おおまかに、将来どういう職業を目指すのかを考えさせます。さらに、高校1年の終わりに理系・文系の進路上のクラス選択があり、この選択作業が志望学部・学科を実質上決定すると同時に、社会人として自分の進むべき方向づけがなされます。高校3年ともなると、国公立や私立の志望大学を決め、その受験対策に専念します。

進路選択を考える上では、世界に広く目を向けることも重要です。弘学館では「国際文化教養講座」や「進学講演会」を定期的に関き、社会の各方面で活躍する著名人を招いての講演や、大学教授を招いての「出前講座」の開催など大学に関する多彩な話を聞く機会を設け、進路を考える際の動機付けを図っています。

あわせて、社会の各方面で活躍している本校の卒業生との交流会「キャリアガイダンス」も、開催しています。

Q：保護者面談はありますか。また三者面談もできますか。

年間行事としては、7月と12月の2回にわたり三者面談を実施しています。それ以外の個人面談については、担任が必要に応じて実施しています。面談の形態については、保護者面談・三者面談のどちらでも対応できますので相談ください。また、前もって要望すれば学寮の担当寮監との面談もできます。

Q：クラブ活動は盛んですか。

弘学館ではクラブ活動を奨励しています。体育系、文化系あわせて現在18の部が活動しており、特に中学生については、そのいずれかに全員参加することとなっています。活動時間は放課後から寮に戻るまでの限られた時間内（夕方18:00まで）ですが、集中して工夫をしながら、練習に励んでいます。これまでも陸上部や柔道部をはじめとするクラブが、市や県の大会で優勝や入賞するなど実績をあげています。そして最後までクラブ活動をやり遂げて、志望校への合格をつかんだ生徒たちも多くいます。

目標に向かって努力する日々の学業と、精神と肉体を鍛錬するクラブ活動との両立をめざす弘学館は、文武一道の実践を掲げています。

Q：部活で野球・水泳をやりたいのですが。

残念ながら、弘学館には野球部、水泳部ともありません。学校敷地内には野球グラウンドやプール建設に必要なスペースを十分に確保できないためです。

【入試・手続面】

Q：入学願書の申込方法を教えてください。

学校事務局へ電話 0952-98-2161 や FAX0952-98-3225、また葉書や郵便（〒849-0906 佐賀市金立町金立 1544-1）、Eメール（info@kogakukan.ac.jp）でも受付いたします。願書・送料とも無料でお送りいたします。願書は9月中旬頃に出来る予定です。

Q：専願制度とはどういうものですか。

平成22年度入試より中学入試において、また平成23年度入試からは高校入試において、専願制度を導入しました。これは本校で是非学びたいという生徒を対象にするもので、合格した場合は必ず入学することが条件です。かねてより入学手続きにあたっては、当初は弘学館を志望してはいたものの、寮生活に負担を感じたり、ご家庭の経済的な理由で入学を断念せざるを得なかったり、といったケースが少なからず見受けられていました。本校としては、そういった生徒の切実な思いを、なんとか叶えさせる手立てが無いものかと検討を重ねた結果、この専願制度の導入に至ったものです。よってこの制度を選択されて入学した生徒には入寮を免除するなど、本校で学びたいという意欲と意思を強くもっている生徒をバックアップしていく制度となっています。

Q：必ず入寮しないとイケないのですか。

弘学館は、英国のパブリックスクールのハウス制度を範として設立された学校です。単に通学の便を図る為の寮ではなく、人格形成の場としての“学寮”として位置づけています。

中学の女子を除いて全員※が入学時の1年間は原則、寮へ入っていただきます。開校以来、全寮制のもと学校と寮とが緊密に連携をとりながら、今日まで多くの優秀な人材の育成を図ってきました。全国各地域から集まった仲間たちとの共同生活は、互いに切磋琢磨しながら真の友情を育み、学習習慣を確立する場となっています。人生の中でもっとも多感な時期に、このような貴重な経験をすることは人間形成の上でも大いに役立つものと思います。

ただし、ご家庭の経済的なご事情や、食物アレルギーの症状が重いなどの事情により寮生活が困難なときは通学も認めておりますので、個別にご相談いただければと思います。

※中学の女子については通学を原則としますが、通学が困難な場合は入寮できます。

※中学及び高校の専願入試での入学者の内、希望者は自宅通学も認めます。

Q：補欠合格と合格とはどのように違うのですか（類似のご質問として：補欠で入学しても授業についていけるか不安です。）

補欠合格者とは、わずかな差で合格ラインには達しなかったものの、学力的には合格者と遜色がないとみなされた方です。合否通知の時点では正式な合格者ではありませんが、正規合格者の中から辞退者が出た場合に繰上げ合格の対象となります。

一度だけしか実施されない入学試験では、日ごろの実力を十分に発揮できない場合や、当日の体調次第で合否結果が左右されることもあります。しかしながら、制度的にはどこかで合否の線を引かねばならず、合格ラインにはわずかな差で達しなかったものの、学力的には合格者と比べても遜色がないというレベルの受験生には、補欠合格という形での通知を出しています。

補欠合格者とは、「弘学館へ入学しても、十分やっつけていけると判断された人」とお考えください。入学さえすればスタートラインは一緒です。実際、過去の例を見ても、補欠合格の生徒が入学後に成績上位を占め、いわゆる難関大学へ進学したケースが数多くみられます。

Q：繰上げ合格の連絡はいつ、どういう方法でなされますか。

入学手続きの期間中に辞退者がでた場合は、補欠合格の通知を受けた方の成績上位者から順番に繰上げ合格の対象となります。その際は、願書記載のご自宅または緊急連絡先に電話にてまずお知らせをし、その上で通知書を郵送しています。連絡がつかないために繰上げの対象から外すことはありませんが、緊急連絡先にはいつでも連絡が取れる電話番号等をご記入ください。なお、具体的な連絡期日については、補欠合格の通知をお送りする際に文書を同封してご案内しています。

Q：特待生制度はありますか。

入学試験の成績が優れた受験生に対し、合格通知とともに特待生採用の文書を同封しております。また、入学後においても、学力・人物が優れた生徒に対しても特待生として月納金

を一部免除しております。

詳細は学校案内 30 ページをご確認いただくか、事務局 0952-98-2161 までお問合せください。

Q：公立高校へ合格した場合、弘学館への入学辞退はできますか。

入学辞退は可能ですが、いったん納入された入学金・入寮準備金の返還はできません。

本校の入学手続き（2月上旬の入学者登校日までの一連の事務手続）をすべて完了したうえで、その後に辞退をされる方は弘学館事務局までその旨をすみやかに申し出て下さい。

Q：入学前に学校・寮見学はできるのですか。

学校休業日以外の日で、ご希望の日を事前にご連絡いただければ、担当者ご案内します。その日に特別な支障がなければ、授業や寮生活の様様もご覧いただけます。

Q：入学を予定していますが、入学者説明会にどうしても都合が悪くて参加できません。

例年2月上旬に本校で行っている入学者説明会へは、保護者（もしくはそれに代わる方）同伴の出席が原則となっています。どうしても、お子様の都合がつかない場合は保護者の方だけの出席でも結構ですが、当日の説明会では入学手続関連資料の受渡し、入学予定者への課題提示等があり、教科書・参考書の購入、制服の採寸、注文等も行っておりますので、少なくともどなたかは出席をしていただきますようお願いしています。

ご質問の方のように、お一人も出席できないという場合には、かならず弘学館事務局へ事前のご連絡をお願いします。別の日に個別のご対応を検討させていただきますが、いずれにしても入学予定者の方には、入学前に必ず一度学校に出向いていただくことになります。

Q：通学範囲は決まっているのですか。

特定の範囲を通学地域として限定している訳ではありません。実際、県外からの通学者もいますし、交通手段も JR、高速バス、自家用車等それぞれです。ただ、通学に長時間を要するとなると就学に支障が出ますので、無理のない範囲での通学をご検討ください。

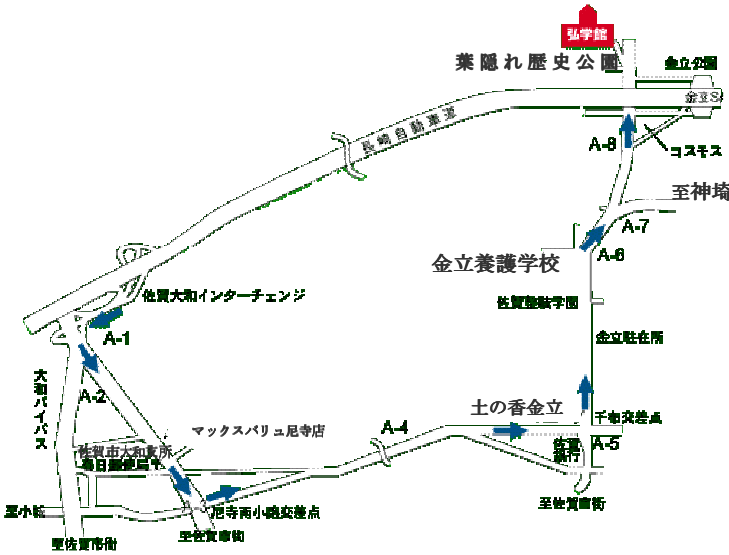
なお、一人暮らしのマンション・アパートや間借りからの通学は禁止していますので、かならず保護者の方と同居するようにしてください。

Q：JR 佐賀駅からはバス・タクシーで何分かかりますか。（類似のご質問として：バスの本数はどれくらいですか。）

JR 佐賀駅からバスで約 30 分、タクシーで約 20 分程度です。バスの便（佐賀市営バス）は1時間に1本程度（多くて2本）の割合で運行しています。詳細を知りたい方には、時刻表を FAX で送信します。また、佐賀市交通局 0952-23-3155 もしくは佐賀駅バスセンター 0952-29-8137 へ直接お問合せいただいても結構です。

Q：佐賀大和インターを降りてからの道順を教えてください。

ご質問の道順は次のとおりです。その他のアクセス方法は、本校ホームページまたは学校案内32ページでもご確認できます。



長崎自動車道を利用し、佐賀大和ICで降りた場合。《一旦、佐賀方面へ戻り、国道・県道を通ってくるルート》

- A-1 料金所を出て、佐賀方面へ左側道路を100m程左にカーブ（一時停止）
- A-2 200m直進しY字路の交差点（信号機有）を左折
- A-3 1km程直進後、3つ目の交差点、尼寺南小路交差点（信号機有）を左折（神埼方面へ）
- A-4 ほぼ、直線の道路を1km程直進。
- A-5 千布の交差点（信号機有）を左折。
- A-6 1km程直進後、右にカーブしている道路へかかる。
- A-7 弘学館入り口前のY字路交差点（信号機有）を金立公園方面へ左折。
- A-8 ほぼ直線の道路を1km程直進すれば、弘学館前に到着。

Q：スクールバスはありますか。

近年、自宅通学生も増えつつある中で、安全面の確保・利便性の向上を図ることを目的として、西鉄久留米駅～弘学館間、および佐賀城公園～弘学館間のスクールバスを運行しています。おおまかな運行ルートについては学校案内(P.31)をご覧ください。詳細な運行時間やルート・費用などについては、事務局までお問合せ下さい。Tel.0952-98-2161

そのほかに通学のための交通機関としては、佐賀市営バス（佐賀駅バスセンター～弘学館前）、西鉄高速バス（天神バスセンター～高速金立：所要時間約1時間、20~30分間隔で運行中）などが主に利用されています。

【寮生活面】

Q：帰省はいつできますか。（類似のご質問として：帰省の回数制限はありますか。長期帰省できるのはいつですか。）

定期考査前やその期間中を除いて、原則として毎週土曜日の午後（放課後）から帰省でき、翌日曜日の18：00迄（夕食不要の場合は18：45迄）に帰寮することになっています。帰省回数についてのお尋ねですが、事前に定められた帰省日程の範囲内においては、そのような制限はありません。但し、帰省時には寮監への届出は必要です。

また、長期の帰省期間としては次のとおりです。

5月1日～5月7日。7月23日～8月20日。12月23日～1月10日。3月25日～4月初旬。
（以上は平成29年度中1,2年生予定：中3及び高校は補習、模試等で多少短くなります。）

Q：子どもへの連絡はいつでもできますか。

家族の面会は放課後から 18：50 までとなっています。学習時間中の面会は原則として認められません。電話の取次ぎについては、学習時間及び消灯後はできません。なおFAXを設置しており、こちらへの送信はいつでもできますので、ぜひご利用ください。集団での規律ある生活を送る上では、ある程度の制約が必要となります。ご了解いただきますようお願いいたします。もちろん緊急または特別の事情がある場合はその限りではありません。

以下は各寮の連絡先です。

- アカデミアハウス（男子：中学1年～中学3年）
〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町金立 1544-1
TEL0952-98-2162 fax0952-98-3065
- 陽光学舎（男子：高校1年～高校3年）
〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町金立 1730-1
TEL0952-98-2163 fax0952-98-2196
- ドーマー・パル（女子：中学1年～高校3年）
〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町金立 1729-1
TEL0952-98-2164 fax0952-98-2192

Q：夜間学習中、分からない点は質問できますか。

アカデミアハウス、陽光学舎及びドーマー・パルの全ての寮において現役医大生による個別の学習指導を行なっています。毎回の寮学習時間には、この学習指導員が待機をしており、寮生の質問に対して細やかな指導を行なっています。

Q：夜間の学習時間を延長することはできますか。

高学年については学習の実情に即し、各学年の担任・担当寮監が協議して延灯学習を認めることがあります。低学年（中学1・2年生）には、夜更かしせずに睡眠時間を確保することを優先させていますので、延灯学習は認めていません。

Q：朝早く起きて学習することはできますか。

全学年とも、午前5時から起床時間の午前6時50分まで、早朝学習をすることができます。試験期間が近づくとその数が増えますが、普段の日でもかなりの生徒が早朝学習の時間を利用して、授業の準備や読書にと思いい机に向かっています。通学に時間をとられないことがないので、朝のひと時を有効に使うことができるのが寮生活の利点といえるかと思えます。

Q：休日には自由に外出ができますか。

日曜・休日の自由時間（昼食後）に限り外出は自由です。（学園周辺の散歩等は除き）その際は担当寮監の許可証が必要です。門限は17：30（ドーマー・パルは17：00）。保護者同伴の場合は21：00までとなっています。

Q：洗濯物は帰省日に自宅へ持って帰るのですか。

ランドリー職員が寮生の洗濯物の面倒をしています。朝の登校前までに洗濯ネットに入れて出しておけば、夕方には洗濯されて専用の棚へ戻されています。また、陽光学舎、ドーミー・パルには小型の洗濯機・乾燥機を備え付けていますので、自分で洗濯をすることもできます。

Q：寮で病気にかかった場合、病院へはどのようにして行くのですか。(類似のご質問として：通院時は送迎してもらえますか。)

通院専用の車両(各寮に各1台の通院車を保有)にて各病院への送迎をおこなっています。通常、朝8:30出発の午前の時間帯と夕方16:00出発の放課後の時間帯の1日2回送迎を実施しています。通院範囲は原則として近くの病院に限っています。また、寮生が急病の場合は、すみやかにご家庭へご報告するとともに、応急手当からしかるべき病院への搬送にいたるまで、昼夜を問わず責任を持って対応いたします。

Q：食事のメニューは選べますか。(類似のご質問として：寮の食事がおいしくないと聞きますが本当?)

残念ながらメニューを選択することはできません。献立はあらかじめ決められていますので、全員が同じ食事(ご飯と汁物はお替り自由)を摂ります。毎日の食事は、成長期の生徒に合わせて、カロリーと栄養のバランスをとりながら、バラエティに富んだ楽しいものになるよう専任の管理栄養士によって組み立てられています。提供された食事については、毎食調理員及び学校職員で検食を実施し、日々検証をしています。また、基本的な食事指導や偏食をなくすための栄養指導なども、食育の一環として取り組んでいます。これらは社会人としてのマナーや、健康で丈夫な体を育む上で欠かせないものだからです。食堂は「食」に対する感謝の心や、健全な食習慣を身につけることを学ぶ場でもあります。

なお、寮での食事を保護者の方にも味わっていただくために、予めご予約いただければ朝昼夕の給食をご試食いただけるよう対応しております。また、毎年6月と11月に給食試食会を行っており、生徒と同じ昼食を召し上がっていただいています。実際にご試食いただいた保護者の方からは、おおむね好評を得ています。

Q：食物アレルギーがあるので、寮での食事が心配です。(類似のご質問として：おかゆなどは作ってもらえますか。)

入寮の前に食物アレルギーに関する調査を行います。その回答(アレルギー疾患連絡票)に基づいて、できる範囲で食事のメニューを個別に対応いたします。そして生徒は食堂の一角にて、個々に準備されたそれらの対応食を受け取ることになります。

風邪や下痢など体調不良者へは、病人食(粥食・軟菜へ変更)を用意します。

※平成25年度からは「食物アレルギー対応基準」を設け、学校・寮・食堂全体での対策を強化し、万全を図っています。

Q：通学生も給食は食べられますか。

1ヶ月単位の申込となりますが、希望すれば通学生もアカデミアハウスの食堂で食事ができます。料金は、昼食 13,370 円/月（月～土）、夕食 11,210 円/月（月～金）です。

Q：夜食は自由に食べられますか。また、販売はされていますか。

各寮には、パン（10種類）の自動販売機を置いています。また、アイスクリーム・牛乳・プリン・ヨーグルト・ゼリー・果物ジュースなどの自動販売機も設置されており、自由時間に利用することができます。その他には、事前に注文をしておく「おにぎり」や「スイーツ」（各 50 円）も人気の一品です。

Q：寮の浴室の衛生管理についてどのようにされていますか。

毎日の入浴は体の衛生面だけでなく、心をリフレッシュするものとして、心身の健康管理にとって大切な日課となっています。アカデミアハウスとドーミー・パルには各2箇所、陽光学舎には1箇所、各々に配している大浴場では、常に清潔に保たれるように公衆浴場法の衛生管理基準に準じた管理を行っています。毎日の水質のチェックと定期的な浴場の消毒と換水、ろ過機の洗浄とメンテナンスに気を配り、お子様が安心して入浴できるように整えています。また、入浴時のマナーについても寮監による指導を行い、寮生の皆が快適に入れるよう、浴室の管理には特に注意を払っています。

Q：子どもの居室を見ることはできますか。

お子様がどの様に生活をされているかは、たいへん気がかりなところだと思います。ご希望の方は担当寮監立会いの下で見学できます。事前にご連絡をいただければ助かりますが、保護者の方が居室内の整理や整頓をすることは、他の寮生の手前ご遠慮いただいています。

Q：携帯電話の所持は許可していますか。

許可していません。ご家庭との連絡は校内・寮内に公衆電話を数台設置していますので、そちらを利用していただきます。また、お子様への緊急の場合の連絡は学校でも、寮でも優先して取次ぎをいたします。学習に集中できる環境づくりを第一にしていますので、携帯電話を持つことによる利便性より、持つことによる弊害の方が大きいと予想される現状では不許可とせざるをえません。

Q：いじめやけんか、生徒同士のトラブルに対してはどのように対処していますか。

本校は寮をもつ学校として、大切なお子様をお預かりしているなかで、いじめ・けんか等生徒間のトラブルに対しては、何にも増して学校全体として取り組むべき重要な課題であると考えます。

特に、いじめ対策については、学園全体で総合的に管理する新たな組織「いじめ対策本部」を平成24年9月から常設して、いじめの予防・対応の取組を強力に推進しています。

この「いじめ対策本部」では、いじめは“いつもどこかに存在している”ことを前提に置

き、さまざまな角度からの情報収集を行い、いじめにつながる予兆の把握に努め、諸問題に対しては迅速に対応することを心がけます。その上で、いじめを許さない雰囲気をもった校風作りに努めてまいります。

この「いじめを許さない学園づくり」にむけて、学園全体としての取組3ヶ条【第一条 いじめ問題への全校体制をつくる】【第二条 開かれた学園をつくる】【第三条 教職員の指導力向上を図り、学園目標である「人格形成」の徹底を図る】を掲げ、学校・生徒会・保護者の3者の連帯の中で具体的な施策を実行しています。

対策としては、まずは未然防止が最も重要です。その上で早期発見、早期対応を常に念頭に置き指導に当たっています。それらについては、生徒への声かけや細やかな観察、生徒アンケート、毎日の記録・報告等に基づき、生徒たちをしっかりと把握しておくことはもちろんですが、ご家庭との緊密な連携も必要です。その点は日頃から保護者への協力をお願いしています。

その他にもスクールカウンセラーの活用や、相手を思いやる心を育む、情操教育や人権教育の面からのアプローチなど、総合的に取り組んでいます。

他者との摩擦や軋轢は、集団生活において、少なからず生じることですが、迅速で適切な生徒指導を徹底していくことで、早期の解決が図られるよう努めています。

生徒たちへは毅然とした厳しい指導とともに、温かい眼差しを常に注ぎながら、今後も大切に见守ってまいります。

【その他】

Q：同窓会はあるのですか。(類似のご質問として：卒業生は何名ですか)

卒業生は昨年度28期生を送り出し、総数5035名となり、日本のみならず世界各地、様々な分野において、頼もしい活躍をしています。同窓生としての結束も強く、関東支部・九州支部での交流も活発に行われています。

実社会での経験も積み重ねてきた年代が中心となり、益々確固とした同窓会組織に発展しています。在校生との交流も近年目覚しく、母校弘学館に里帰りしての講演等を通して、将来の進路や就職についても貴重なアドバイスとともに、力強いエールを後輩へ送っています。

Q：後援会はどのようなことをしているのですか。(類似のご質問として：保護者の集まりはありますか。)

学校の教育事業を後援し、保護者相互の連帯と親睦を図ることを目的とし、生徒保護者を会員とした組織として、弘学館中学校・高等学校後援会があります。年に1回の総会(毎年5月)と毎学期に1回の委員会が開催され、教育活動がより充実したものとなるようにと、様々なご支援をいただいています。

また、後援会とは別に、各地区(山口県、沖縄県を含む九州各県に及ぶ全17地区)毎に独自の保護者会が運営され、保護者相互の交流の場となっています。特に遠方のエリアから

お子様を送り出されているご家庭にとっては、心強いサポートとなっています。懇談会も定期的に開催され、学校・寮との情報交換も行われています。そこからのご意見やご提案は、「保護者の声」として、教育環境の向上に活かされています。

索引

-あ-

アカデミアハウス 5, 10,11,12
 イブニングスクール 5
 延灯学習 10
 オープンスクール 4

-か-

学習指導員 4, 10
 加速式学習法 4
 管理栄養士 11
 キャリアガイダンス 5
 ゲストルーム 4
 後援会 13,14
 国際文化教養講座 5

-さ-

自動販売機 11
 修学旅行 6
 宿泊参観プログラム 4
 食物アレルギー 11

進学講演会 5
 スクールバス 9
 専願 6,7

-た-

長期帰省 5, 9
 通院車 11
 通学生 5, 12
 同窓会 13
 ドーミー・パル 10, 11
 特待生 7

-な-

入学願書 6
 入学者説明会 8

-ま-

面談 4, 6

-や-

陽光学舎 10, 11

FAQ：よくあるご質問集

平成27年6月版

学校法人松尾学園

弘学館中学校・高等学校

生徒募集係

〒849-0906 佐賀市金立町金立1544-1

TEL 0952-98-2161

FAX 0952-98-3225

URL <http://kogakukan.sakura.ne.jp/>

メールアドレス info@kogakukan.ac.jp